



高齢者、障害者に配慮した住宅

釧持邸

所在地：木更津市高砂2丁目

施主：釧持 毅

設計：加瀬澤建築設計室 加瀬澤文芳

施工：大坪清次

釧持邸は、庭続きの母屋を長男家族に譲り、独立した18坪の“離れ”として建てられている。

敷地の余裕があって実現した高年夫婦住居の理想型といえる。高年生活は、いずれ訪れる身体の不自由と介護やリハビリの必要を予測しておかなければならない。

釧持邸の場合は、ある日突然にご主人が発病され、半身の不自由を支える住居が必要となって、それが新築の動機となったが、この家には、手すりの追加取付ができるなど、高年夫婦の加齢に伴う身体や生活の変化に求められる様々の工夫と心配りが、丁寧しかも簡潔に設計されている。

長く親しんだ木造、畳の寝室、トイレや浴室と台所などの機能設計、歩行や車椅子に楽な段差のない床面、広いリビングルームは安全な床暖房、南面一杯の広々としたガラス戸は冬の陽だまりも心地よく、さらに内と外とを結ぶ縁側の開放感もあつて、趣味の仕事を広げるもよし、リハビリ生活も快適、施主の希望をすべて満足させた。まことに良きホームドクターである設計者を得たといえよう。

最終選考では、館山と柏の両渡辺邸が併せて検討されたが、釧持邸は高年夫婦のための住居のまさに原型を示す設計、施工として評価された。

(野口瑠璃 委員)

